

情報・システムソサイエティ Information and Systems Society

情報処理の基礎理論から実社会への適用や社会課題の解決までの幅広い分野を対象とする、電子情報通信学会の中で最大級のソサイエティの一つです。各分野における研究コミュニティの基盤となり、会員の研究活動を支援することで、国際化の時代における学術の進展と産業の発展に寄与することを目的としています。

専門分野

主な分野 ・人工知能 ・情報処理
・ソフトウェア開発 ・システム技術

第一種研究会一覧

MEとバイオサイバネティクス(MBE)	人工知能と知識処理(AI)	画像工学(IE)
言語理解とコミュニケーション(NLC)	コンピュータシステム(CPSY)	コンピュータシミュレーション(COMP)
ソフトウェアサイエンス(SS)	データ工学(DE)	パターン認識・メディア理解(PRMU)
ディバダブルコンピューティング(DC)	ニューロコンピューティング(NC)	知能ソフトウェア工学(KBSE)
音声(SP)	教育工学(ET)	医用画像(MI)
ソフトウェアインタプリズモデリング(SWIM)	リコンフィギャラブルシステム(RECONF)	情報通信システムセキュリティ(ICSS)
情報論的学習理論と機械学習(IBISML)	サービスコンピューティング(SC)	クラウドネットワークロボット(CNR)
マルチメディア除法情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)		ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)

発行物

・和文論文誌(D)・英文論文誌(D)

・情報・システムソサイエティ誌



ソサイエティでは毎月和英論文誌を発行しています。また多くの特集号も企画されています。ソサイエティ登録をすることで、学会HPにてオンラインで閲覧することができます。なお英文論文誌(D)の方は無料公開しています。海外に向けた英文での情報発信手段として活用されています。



ソサイエティオリジナルの機関紙です。年5回発行し、研究会活動を紹介するためのインタビュー記事、研究会の会議報告等、更にはソサイエティ活動の活性化を目的として、研究会、国際会議、コンテスト等の幅広い活動内容の情報発信を積極的に研究会に呼びかけ多彩な記事を掲載しております。

大会・研究会活動

毎年3月に開催される総合大会のほか、毎年8-9月には、本会ヒューマンコミュニケーショングループと情報処理学会との共催イベント「情報科学技術フォーラム」(FIT)を開催しています。これらのイベントを通じて情報や人との新たな出会いを提供するほか、総合大会のジュニア&学生ポスターセッションなど、若い方々が勇気を得られるような施策にも力を入れています。



また、本ソサイエティには23の研究専門委員会および3の特別研究専門委員会が設置されています。研究専門委員会では、特集テーマや招待講演など、様々な企画を設定しながら定期的に研究会を開催しています。他学会と連携して数百人規模のイベントを毎年開催している委員会もあります。

Distinguished Lecturer

国際交流活動促進の一環として、本ソサイエティ分野の研究者の方を「Distinguished Lecturer」として国際セクションに派遣し、国際会議や海外向けワークショップ、講演会等の活動に力を入れています。

情報・システムソサイエティでは14人もの研究者の方が参加しています。

参加者一覧はこちら→
(クリックまたは読み取り)

